

防水技術特集

東北地方整備局三ツ木浩剛営繕部長インタビュー



官庁施設の約6割が築30年以上となる中、東北地方整備局営繕部では、防水改修や保全指導などの老朽化対策、ZEB化やDXの推進など時代に即した取り組みを進めている。施設機能を将来にわたって維持するには、計画的な改修と適切な維持管理が不可欠となる。三ツ木浩剛営繕部長に、老朽化対策の現状や防水工事の重要性、建設業界の担い手確保に向けた取り組みなどについて聞いた。

官庁施設の老朽化の現状についてお聞かせください。
三ツ木 2025年3月時点のデータによりますと、全国の官庁施設は約1万2600施設、総延べ面積は約4900万平方メートルに及びます。このうち、築後30年以上を経過した施設の割合が全体の約6割を占めており、今後もこの老朽化の割合は増加していく見込みです。現状の老朽化の程度を測るため、外壁の劣化や漏水の影響、設備機器の状況などを確認していますが、これらの部位のうち1つ以上で老朽化の兆候が見られる施設が全体の5割を超えています。ただこれは建物が使えなくなるわけではありませんが、老朽化が着実に進行しているのは事実です。官庁施設は災害時の応急対策活動や、地域の社会経済活動を

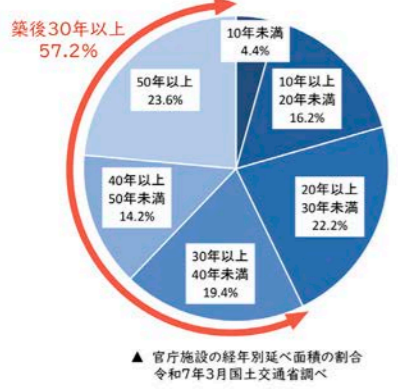
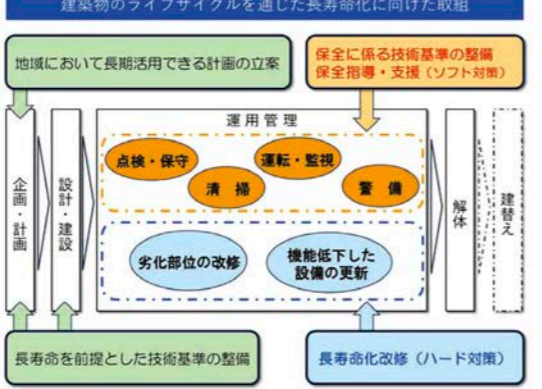
計画的な改修と適切な維持管理が不可欠

支える重要な拠点ですので、将来にわたってその機能を計画的に維持していくことが極めて重要だと考えています。

具体的にどのような老朽化対策を進めているのでしょうか。
三ツ木 対策はハードとソフトの両面から進めています。まずハード対策としては、整備局が自ら施設整備を担当する建物について、戦略的な維持管理・更新を行っています。具体的には、一定のエリアごとに存在する官庁施設を「群」として捉え、ファミリーマネジメントの観点から地域ごとの「官庁施設整備構想」を策定しています。その中で、施設ごとに長寿命化して長く使うのか、あるいは建て替えるのかという方向性を整理しています。長寿命化を図る施設に対しては、トータルコストの削減を意識しつつ、建物の寿命に大きく影響する防水や外壁、そして防災・ライフライン系の設備に対して「長寿命化改修事業」を実施し、劣化の進行を緩やかにしています。ソフト対策は、各省庁の施設管理者に対して適切な維持管理ができる

よう、保全指導を行っています。毎年度「保全実態調査」を実施し、保全状態が良好でない場合は必要な取り組みを促す指導をしています。また、いつ・いくらで修繕するのかをまとめた「中長期保全計画」の作成を指導しており、調査結果ではほとんどの施設で作成・運用されていることが確認でき、各省庁の意識の高まりを感じています。さらに、年一回「官庁施設保全連絡会議」を開催し、自治体も含めた職員へ適切な保全に必要な講習や情報提供を行っています。

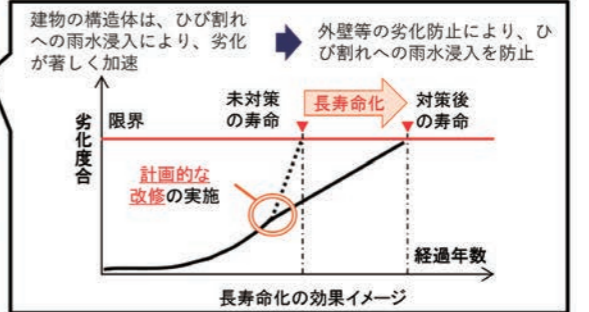
建築分野、特に営繕事業における環境対策（ZEB推進など）の取り組みはいかがですか。
三ツ木 政府実行計画に基づき、建築分野でもカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを進めています。東北地方整備局では、新築の設計業務において、基準エネルギー削減する「ZEB Oriented（ゼブ・オリエンテッド）」以上のレベルを原則としています。一部の事業では、さらに高いレベルである50%以上削減の「ZEB Ready（ゼブ・レディ）」を目指して取り組んでいます。ZEB化の推進にはエネルギー使用量を抑える必要があるため、屋上などの「高断熱化」が非常に重要な要素となります。また、運用の段階だけでなく、資材の製造から解体に至る建物のライフサイクル全体での脱炭素化を目指し、設計業務の一部で「ライフサイクルカーボン」の排出量算定を先行的に実施しています。



建設DXや新技術の活用、生産性向上に向けた動きについて教えてください。
三ツ木 建築BIMを含めた建築・都市のDX、現場の自動化・省力化を目指す「iConstruction 2.0」などの動きを踏まえ、営繕事業でも生産性向上技術の活用

を推進しています。建築分野の効率化・省人化技術は民間主導で開発されることが多いため、それらが営繕工事でも導入されやすくなるよう制度的な対応を行っています。例えば、工事の入札（総合評価落札方式）において、プレキャスト化や自動化施工などの生産性向上に関する技術提案があれば加算評価する仕組みを取り入れています。また、実際に施工されて効果が確認された場合は、工事成績評価でも加算し、積極的な活用を促しています。さらに、発注時の仕様が従来タイプであっても、受注者から同等の品質・性能が確保できる提案（プレキャスト化やユニット化など）があれば、監督職員との協議の上で変更を柔軟に認めています。防水工事に関しても、既存の防水層の状況に応じて、より適した方法を受注者から積極的に提案していただきたいと思えます。

主な改修内容	部位の例	未措置の場合の問題点等
躯体の保護	外壁、防水、建具	雨水浸入や漏水による躯体劣化等
防災設備	防火設備、中央監視設備	防災機能の停止 火災発生時の被害拡大リスク等
ライフライン設備	電力設備、空調調和設備、給排水設備	ライフライン機能の停止 給排水設備からの漏水による躯体劣化等



喫緊の課題である建設業界の担い手確保や処遇改善はどのように取り組んでいますか。
三ツ木 建設業界全体、そして防水工事業者のような専門工事業者にとっても、担い手不足は非常に深刻な課題です。営繕事業では、長時間労働の是正や週休2日の確保といった働き方改革の推進、賃上げに資する処遇改善、DX活用による負担軽減を通じて、魅力ある業界づくりを後押ししています。本年度からは、週休2日を大前提とした工期設定に加え、実際の施工時期や時間帯について、受発注者間で柔軟に協議できる多様な働き方の支援も開始しました。また、整備局が発注した工事において、元請企業だけでなく、実際に現場を支えた専門工事業者の優

遇改善を進めています。建築分野の効率化・省人化技術は民間主導で開発されることが多いため、それらが営繕工事でも導入されやすくなるよう制度的な対応を行っています。例えば、工事の入札（総合評価落札方式）において、プレキャスト化や自動化施工などの生産性向上に関する技術提案があれば加算評価する仕組みを取り入れています。また、実際に施工されて効果が確認された場合は、工事成績評価でも加算し、積極的な活用を促しています。さらに、発注時の仕様が従来タイプであっても、受注者から同等の品質・性能が確保できる提案（プレキャスト化やユニット化など）があれば、監督職員との協議の上で変更を柔軟に認めています。防水工事に関しても、既存の防水層の状況に応じて、より適した方法を受注者から積極的に提案していただきたいと思えます。

3Dプリンターや木造建築の活用に対する見解は。
三ツ木 3Dプリンターは万博などでも施工例があり、省力化の観点から注目されていますが、強度や品質、施工精度の確保がどこまで確認できるか、まだ整理が必要な段階と見ています。ただ、技術の進展は非常に早いので、情報収集を行いながら、部分的な提案があれば評価を検討していきたいです。木造化については、国の施設は災害時の応急対策拠点となるものが多いため、防火やコスト、技術が特定の者に限定されるといった制約があり、大規模な純木造の導入には難しさもあります。しかし、低層の建物など制約の少ない部分から進めていく、直近では福島県庁舎の改修で木造で整備しました。また、内装の木質化については、現在はほぼすべての事業で少なからず取り組んでおり、カーボンニュートラルにおける大きな手段として推進しています。

最後に、防水工事に携わる専門工事業者の方々へメッセージをお願いします。
三ツ木 建築物は「水との戦い」であり、水を防ぐことが建物を守る最大のポイントです。コンクリートにひびが入り、内部の鉄筋が錆びて躯体の強度が落ちてしまう前に、防水層の寿命と言われる10・15年のスパンで、予兆がある段階から適切に手を入れていくことが、建物の長寿命化には欠かせません。こうした改修による老朽化対策を円滑に進めるためには、防水工事に携わる皆さまのご協力が不可欠です。整備局が発注する工事情報をご覧いただき、ぜひ積極的に入札へ参加していただきたいと思います。皆さまの優れた技術力と施工力に、大きな期待をしております。



略歴
みづきひろたか
1970年7月生まれ。東京都葛飾区出身。95年東京工業大学（現・東京科学大学）大学院修了後、旧建設省に入省。近畿地方整備局営繕部計画課長、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課企画専門官、同設備技術対策官などを経て、2025年7月から現職。56歳。

あたりまえの豊かさをささえる、あたりまえじゃない技術。

屋根で守り、床で支える。

TAJIMA

田島ルーフィング株式会社 仙台営業所 防水営業部 tel.022-261-3628
https://tajima.jp 床材営業部 tel.022-222-6413

三星産業株式会社

常務取締役東北支店長 相川 浩一

仙台市青葉区本町1-3-16
TEL.022-262-5201 FAX.022-264-3138

防水工事・一般電気設備工事

嶺電工業株式会社

代表取締役 嶺岸 義雄

〒981-3133 仙台市泉区泉中央2丁目10-13
TEL.022-375-8976 FAX.022-372-9361

防水から見える“未来の形”

Cool Choice!

クリーンアスNEO工法

室内専用常温アスファルト防水

1液の常温改質アスファルトと改質アスファルトルーフィングを組み合わせた、常温アスファルト防水です。「E-1」「E-2」工法で技術審査証明を取得しております。

特定化学物質：ゼロ
有機溶剤：ゼロ
施工時CO₂排出量：ゼロ
施工時の臭い・煙：ゼロ

総合防水材料メーカー
日新工業株式会社

営業統括部 〒120-0025 東京都東区住居2-23-4
TEL: 03-3882-2571 FAX: 03-3881-8545
https://www.nissinkogyo.co.jp/

各県団体トップに聞く

防水業界へ次世代を導く

青森県防水工事業協会

会長 大久保 英樹



当協会は昨年創立30年という節目を迎えることができました。これもひとえに全国防水工事業協会、東北各県防水工事業協会、当県協会、関係機関の方々のご支援あってのことと存じます。

周年事業といたしまして、青森県シーリング防水協会と研修旅行を共催し、大阪・関西万博を訪問しました。万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」とあり、私たち防水工事業も未来へ向けて次世代の子供たちに何を伝え何を残していくのか、いろいろと考える気付きとなりました。その中には、人間と機械やAIとの共存の仕方に関わる展示もあり興味深い内容でした。

防水工事の機械化は現在それほど進んでいません。しかしながら少子高齢化が叫ばれて久しいわが国においては、避けては通れないテーマです。どの部分に機械が介入しても人間の施工する能力や最後は人が

チェックをすることはこの先も大切だと思います。そのため、若い世代を防水業界へ導くこと、既に業界にいる若い世代を育てていくこと(スキルアップ)が肝要であります。

当協会では、年2回の技能検定および事前のトライアルの実施と運営を行いました。

その他にも、防水業が魅力ある業種となるよう引き続き会員一同とともに活動していく所存です。

直近の課題として、イラン情勢に伴い原油がわが国に入らないことを起因としたかつてないナフサ不足に陥っています。ご存じの通り各種防水材料や副資材の生産供給が滞っています。海外からの資源に頼りつつ依存先が中東に集中している脆弱(ぜいじゃく)性が露呈した形です。

イラン情勢が落ちつくまでこの状況は続くかと思いますが、その先として、資源の供給リスク分散や、ナフサに頼り過ぎない環境配慮に優れた防水材料の開発および普及も望まれます。そのために私たちからも知恵を出し合い未来へと繋がっていければと切に願っています。

技能者育成と企業経営を支援

岩手県防水工事業協同組合

理事長 三上 誠



当組合では、組合活動の柱である技能者育成において、継続的に技能検定受験者への学科・技術講習会を実施し、受験予定者の技術習得・向上を図っております。

また、県内建設各団体とともに自治体への要望活動においては、入札制度問題や検定会維持のほか、若手を雇用育成する中小・零細企業に対する具体的経営支援を要望し、防水専門業者の企業経営にもメリットをもたらすための活動を展開しています。

現場の最前線でもつくりにあたる防水施工の技術者である「防水施工技能士」を認定する技能検定試験は、受験者数・受験機会ともに年々先細りにあります。この背景には若年者の入職数低下が直結しており、いわゆる担い手不足というものが日々技術の継承

に影響を及ぼしている状況にあります。

私どもは積極的な雇用と啓蒙により受験者数を増加させるとともに、県や職業能力開発協会へ検定機会の従来同様のレベルでの維持を働きかけてゆかなければなりません。また、雇用および雇用維持は小規模企業にとって容易ならぬものであり、雇用や人材育成について積極的に取り組む企業についてしっかりと公的支援策が図られるよう、今後も働きかけを展開していかねばなりません。

防水工事は1年を通じ屋外で施工に当たることが大半である非常に厳しい職場です。しかし、建物を劣化させる外的要因から建物を守る技術は防水工事であり、数々の社会資本を保全するというやりがいと喜びを強く認識し、今後もこれら諸問題の解決と県内防水施工会社の維持・成長に寄与できる活動を展開してまいりたいと考えております。

経験したことの無い事態に直面して

宮城県防水工事業協会

代表 浅野目 孝之



2025年秋、多くの人々が間もなく顔を見せる太陽を待ち望んでいた。しかし、今回もまた暗雲が広がった。そんな中、彼女の一念が通じたのか、かすかな東雲(しのめ)が見えた。

昨今、原油の輸入停止により、石油化学の基幹素材であるナフサが市場から姿を消した。われわれの身の回りのありとあらゆる製品はナフサ由来であり、防水業の生業である防水材料もまた、市場から消失したのである。

「土方を殺すには刃物はいらぬ、雨が三日も降ればよい」という言葉を聞いたことがある。今、防水屋を殺すには、いや、全ての経済を止めるにはナフサを消せばよいのだ。「人・物・金」のどれか一つが欠けても経済は回らない。

ナフサの欠如が経済をいかに壊滅させるか、われわ

れは身をもって知ることとなった。「長期間の供給不足はないのではないか」「どこかで妥協せざるを得ないのではないか」—そんな不安が胸を去来する。

現在、防水業者は一式請負、手間請負を問わず、窮状(きゅうじょう)に瀕(ひん)してはいないだろうか。自己資本があれば雇用は維持できる。毎月必要な固定費の6か月分以上を確保しておくことが、経営の基本であると改めて痛感する。もちろん自己資本は多いに越したことはない。自己資本比率の大切さが、いま、これほどまでに重く響く。

次に来る危機は、職人不足の深刻化かもしれない。いつのことだったか、型枠工、鉄筋工、コンクリート工、左官工、電工など、あらゆる職人が廃業し、工事の終わりが見えなくなった光景を思い出す。われわれ防水業の未来は、この荒波をいかに乗り越えるかにかかっている。

若手技術者の育成に注力

福島県総合防水工事業協同組合

代表理事 金澤 正夫



現在、世界中が中東情勢の不安定化による原油価格の高騰や供給不安というリスクに直面しており、混乱の長期化による世界経済への悪影響が大いに懸念されるところです。

われわれ防水工事業界についても例外ではありません。防水材や塗料などは、その多くが石油由来のナフサを原料としており、供給遅延や価格高騰などが業界を直撃し、先行きが不透明な状況が続いています。1日も早い終息を願わずにはおれません。

防水工事は、建築物の耐久性向上に重要な役割を担っており、施工技術の向上と次世代への継承は必要不可欠です。技能者の高齢化が猛スピードで進行する業界においては、先が見通せない状況であっても、人材育成の歩みを止めるわけにはいきません。

建築防水施工業者のプロ集団である当組合では、福島県職業能力開発協会から技能検定業務の委嘱を受けており、技能検定合格に向けた予備講習なども実施し、積極的に「技能士」の育成を進めています。

当組合が昨年度実施した技能検定では、前・後期合わせて新たに8職種29人の技能士が誕生しました。建物やインフラのメンテナンス需要が高まり続けている防水工事業は、成長していく魅力ある業界です。今後も若手技術者の育成に注力し技術に優れた技能士の確保に努めていきます。

今後とも当組合では、建物のオーナー・ユーザー様の立場に立って、建築物の劣化チェック、改修計画の立案、見積、そして実際の施工から万全のアフターケアまで、業界トップレベルの製品と技術力で遂行してまいります。

協会が行ったさまざまな人材育成と技術講習



あお けん
株式会社 **青建防水工業**
aoken
代表取締役 木村 義知
本社 青森市大字新城市山田675番27号
電話(代表) 017-788-4343
FAX 017-788-4480
本社アドレス E-mail: aoken@k.purea-web.net
仙台営業所・八戸出張所・むつ出張所

総合防水工事・コンクリート構造物 補修補強
SHOEI
株式会社 **昭栄工業**
代表取締役 松山 昇榮
(本社) 青森県五所川原市大字漢字船越344-12
TEL.173-34-4309 FAX.0173-34-4316

(一社)全国防水工事業協会員
建築防水・躯体防食・床版防水
TECHNO CHARGE
株式会社 **テクノ中央**
代表取締役社長 寺沢 学
青森県八戸市新井田字重地下51-12
TEL.0178-25-6789 FAX.0178-25-0405

総合防水工事業
ANKS
株式会社 **アックス**
代表取締役 熊谷 教央
盛岡市上田字松屋敷24-5
TEL.019-662-5354 FAX.019-662-7831
E-mail info@anks.co.jp

建築・防水をハートメイクする
超速硬(瞬間硬化型)スプレー工法施工店
株式会社 **EWA**
代表取締役社長 佐々木 強
〒026-0001 岩手県釜石市大字平田第3地割61番地24
TEL.0193-26-6880 FAX.0193-26-5660
http://www.eiwa-heartmake.com/
E-mail: eiwa-2@celery.ocn.ne.jp

調査・診断から提案・計画・施工
総合防水工事
株式会社 **マルエス工業株式会社**
代表取締役 穴田 利成
〒020-0846 盛岡市流通センター北1-10-11
TEL.019-639-0411 FAX.019-639-1137
https://www.maruesu.info/ E-mail: main@maruesu.info

Total interior & Waterproof design
株式会社 **環清工業**
代表取締役 伊藤 稔
秋田県湯沢市字祝田145-7
TEL.0183-72-0038 FAX.0183-73-3319
minoru@yutopia.or.jp

Total interior & Waterproof design
株式会社 **東和**
代表取締役 野口 久榮
〒010-0921 秋田市大町2丁目7番26号
TEL.018-864-4561(代) FAX.018-864-4564

防水工事・外壁補修工事
株式会社 **北原建材工業株式会社**
仙台営業所
代表取締役 升本 茂樹
〒984-0015 仙台市若林区卸町一丁目5-8
TEL.022-236-6768 FAX.022-239-1082

株式会社 **日新商事株式会社**
代表取締役 浅野目 孝之
本社 〒983-0833 仙台市宮城野区東仙台7-13-6
TEL.022(295)9895 FAX.022(295)9897
石巻出張所 〒986-0881 宮城県石巻市明神南10-1
TEL.0225(96)0421 FAX.0225(96)0484
URL https://www.nissin88.net/

トップインタビュー

一般社団法人 全国防水工事業協会東北支部



東北支部長
宍田 利成

防水工事業の健全な発展に向けて

当協会は防水工事業の健全な発展を図り、もってわが国建設産業の発展と国民生活の向上に寄与することを目的とし、1974年7月、任意団体全国防水工事業団体連合会として発足いたしました。その後、建設大臣届出、社団法人改組、一般社団法人移行を経て、防水工事業の専門工事団体としては唯一国土交通省に認められた

団体として運営されております。当協会では防水施工管理技術者認定試験、登録防水基幹技能者講習、CCUS能力評価、防水施工法の出版など多岐にわたる活動を展開しており、現在では国土交通省「労務費に関する基準」制定にあたり、同省との協議を重ねながら各防水工法における歩掛算定による「標準見積書」の策定にあ

っております。

東北支部においては、国土交通省東北地方整備局から提供いただく最新情報に基づく意見交換や工事業者側から見た諸問題についての各種要望、会員会社の継承者・若手育成を目的とした次世代研修、時節の課題を題材とした勉強会開催などを通じ、経営環境変化に伴う対応や、法令改正・新制度に対する研修の取り組みなどの活動を展開しております。

さまざまな問題が山積する昨今ですが、現存する社会資本の保全を図っていくためには、外的劣化要因から構造物を保護する高品質な防水施工が必須であり、これを確実に継続提供していくためには防水施工業者が健全経営され、かつ担い手の確保育成が円滑に進み技術継承がなされていくことが重要となります。そのための具体策として、安定した材料供給、適正な労務費の支払い、必要な費用の適

正な価格転嫁等は、「いま対策し、解決しなければならぬ重要課題」であり、これらの解決に努め、防水施工業者の経営の一助となり防水業界の継続発展へ寄与する活動を推進して、まいりたいと考えております。

今後も防水工事業界の継続、発展にご指導を賜りますようお願い申し上げます。

東西アスファルト事業協同組合東北支部



理事
木村 義知

現場の風通しが生む、確かな防水品質

東西アスファルト事業協同組合東北支部の活動内容としては、長寿命・高耐久・環境配慮向上を掲げ、アスファルト防水の最先端工法であるプライムアス工法の技術研修を行います。組合員の技術力向上を目指し技能講習会、営業職員と技能員向けにプライ

ムアスの採用事例紹介と施工上の注意点やポイントについてデモンストラーションを行います。また、東北6県各地において施主・設計・ゼネコンを対象にセミナーを開催し防水工法について勉強会を開催し防水知識の啓蒙活動を図ります。

人材育成、技術力向上に向けた取り組みは、2023年より3年連続グループワークによる防水仕様提案や外部講師によるディスカッションを行い、組合員の人材育成を行っています。

また、夏場のアスファルトの施工現場は、過酷な暑さとの戦いになります。現場で働く技能員が、安全に作業できるように各組合員へウォータージャグ

とスポーツドリンクの粉を配布しています。組合では、熱中症対策を直接的に支援しており、こうした小さなサポートの積み重ねが安心して働ける現場環境作りの第一歩と進めています。

このほか、同業他社ではありませんが、東北の防水工事業界を支える仲間として暑気払いや忘年会を開催しています。普段、会議室では話せないよう

な現場の問題、働き方開拓(改革)などの対応を気軽に相談しあえる関係性を築くことが重要だと考えています。

この「日頃の風通しの良さ」こそが組合員同士の重要なコミュニケーションの基盤になっていると考えています。

東北防水改修工事協同組合



理事長
田村 哲朗

建物の安全を守る専門技術で社会に貢献

東北6県の防水工事専門業者で組織される当協同組合は、厳しい気候風土の中、地域の雨から大切な資産を守ることを使命として、日々技術を磨き続けております。

近年は激甚化する自然災害への対策に加え、建物の長寿命化を通じた「カーボンニュートラルへの貢献」が強く求められています。そこでことしは、

防水機能を飛躍的に長寿命化する新工法の普及に全力を注ぎます。適切な維持管理により建物の寿命を延ばすことは、将来的な建物の解体や建て替えに伴う膨大なCO₂排出の抑制に直結します。さらに、遮熱・断熱機能を持つ付加価値工法の導入を推進し、建物の省エネ化と持続可能な社会の実現に寄与してまいります。

また、私たちはこのような「環境への配慮」と「深刻な人手不足の解消」という業界の課題に対し、組織の力を結集して立ち向かいます。施工の省力化・高効率化をもたらす新技術の導入や、組合主導のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進等を加速させることで、生産性向上と組合員企業の連携も強固なものにいたします。

強みである「確かな技術力」の継承にも妥協はしません。新工法に対応した技術講習会を定期開催して東北全域の施工クオリティを高い水準で標準化するとともに、国家技能資格の取得を全面的に支援します。

同時に、「誰もが働きやすい職場環境づくり」を徹底します。現場の安全管理はもちろん、女性や若手が安心して活躍できる職場環境の維持改善を推進に注力します。心身ともに健康で長く働ける環境を整え、職人が誇りを持てる業界へと進化させたいと考

えます。

高度な技術力、環境への貢献、そして誰もが輝ける組織力で、地域の皆さまから「任せて安心安全」と信頼される存在であり続け、ことしも東北6県の確かな未来に貢献してまいります。今後とも皆さまの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本アスファルト防水工業協同組合 関東支部東北地区



斎藤 祐治

防水技術と組合価値の向上へ

防水業界においては、建設業界と同様に人手不足が深刻化していることに加え、中東情勢の緊迫化により建設資材が大幅に値上がりしており、工事費の高騰が続いております。この負担の増加をいかに工事費に反映して転嫁していくのが喫緊の課題となっ

ております。2025年度の組合活動では、通常総会や各委員会もつつがなく開催することができたほか、日本アス・日新防水技術者養成校を開校し、研究部会連合会も名古屋で開催することができました。しかし、業績といったしましては24年度からの新規物件が

中心であるため、25年度は工事量が少なく1年を通じて前年実績を下回る水準で推移しました。

技術力向上のための取り組みとして、新規就労者を確保するのが難しい状況で、特にアスファルト防水に関しては、以前からの担い手不足が深刻化していることから、人材確保のための待遇改善と工法の見直しによる省力

化が急務とされています。

こうした状況を踏まえ、当組合におきましては、ことし6月に日本アス・日新防水技術者養成校を開校するとともに、各支部研究部会を通じて技術研修会を実施し、人材育成と施工技術の向上を図ってまいります。また、ホームページで各種工法の施工動画配信を行い、日本アス防水仕様の習得にご

活用いただくことを期待しています。

26年度におきましても、当組合は社会的諸問題に対応した各工法の独自技術を差別化のための武器として位置付け、組合員各自の高度な施工能力をもって安全性の高い防水層を確実に施工することで、組合員の地位向上と組合の存在価値を高めてまいります。

東北シーリング工事業協同組合



理事長
高橋 真里

働きやすい職場環境を整備

われわれの携わるシーリング防水工事業界は、建物の防水性や気密性を確保し、長寿命化に貢献する重要な専門工事分野です。

住宅やマンション、オフィスビル、公共施設など幅広い建築物において、外壁の目地やサッシ周りなどにシーリング材を施工し、雨水や空気の侵入を防ぐ役割を担っています。近年では建物の老朽化に伴う改修・メンテナンス需要の増加により、その重要性はさらに高まっています。

この業界の発展には、人材の確保と

育成、技術力向上が欠かせないと考えます。シーリング防水工事は施工品質が建物の耐久性に直結するため、若手技能者へのOJTや技術研修を通じて、技術のみならず被着体に対しての材料知識を着実に継承していくことが重要です。また、施工技能士や施工管理技士などの資格取得を支援し、技能や知識の向上を促すことも必要です。さらに、熟練技能者が培ってきた経験や現場調整能力やノウハウを動画やマニュアルとして記録し、可視化して組織的に技術継承を進める取

り組みも求められています。加えて、安全教育の充実も重要な課題です。高所作業を伴うことが多いため、フルハーネスの使用や危険予知活動、熱中症対策などを徹底し、安全意識の高い人材を育成することも不可欠です。

近年では、タブレット端末やクラウドシステムを活用した施工管理、写真管理、情報共有など、デジタル技術の導入も進んでおり、業務効率化や品質向上に役立っています。また、持続的な業界発展のためには、働きやすい職場づくりが重要で、安全で安心して働ける環境の整備に加え、週休2

日制の推進や有給休暇取得の促進など、働き方改革への対応が求められています。さらに、技能や資格、経験に応じた適正な評価制度や処遇改善を行い、将来のキャリアパスを明確にすることで、若手人材の定着につなげることができそうです。

職場内のコミュニケーション活性化やハラスメント防止、多様な人材が活躍できる環境整備も重要だと考えます。女性や外国人材を含む幅広い人材が安心して働ける職場を実現することで、人材確保の裾野を広げることができそうです。

シーリング防水工事業界が今後も

社会に貢献し続けるためには、技術力の向上と人材教育、安全管理の徹底、併せて働きやすい職場環境の整備を一体的に進めることも重要です。建物の安全と資産価値を守る専門技術者としての魅力を高め、持続可能な業界の発展につなげていくことを期待しますし取り組んでまいります。簡単には書きませんが、これらを全てクリアするには企業経営層や組合員の意識改革もそうですが、膨大な時間と実行力が求められると考えますし、これらを実践できなければ、業界としても大きく衰退と繁栄の2極化がさらに進むのではないかと考えます。

東西アスファルト事業協同組合

東西アスファルト事業協同組合ホームページ <https://www.tozai-as.or.jp/>

組合員

【青森】(株)青建防水工業 ☎0177-88-4343	【宮城】東江防水(株) ☎022-285-1191
【岩手】(株)アークス ☎019-662-5354	(有)東北ケミカル工業 ☎022-229-2887
【秋田】(有)環清工業 ☎0183-72-0038	中村澁青工業(株)仙台営業所 ☎022-249-7021
(株)東和 ☎018-864-4561	三星産業(株)東北支店 ☎022-262-5201
【山形】イトウ防水工業(株) ☎0238-23-8321	嶺電工業(株) ☎022-375-8976
山建工業(株) ☎023-633-3003	
【福島】田村建材(株) ☎0246-26-3121	
福島防水(株) ☎024-963-1230	
【宮城】東興アイテック(株)東北営業所 ☎022-287-3410	

指定工事店

【岩手】北星建設(株) ☎019-637-5611
【宮城】(有)菅原防水工業 ☎022-358-4486

事務局 田島ルーフィング(株)仙台営業所 〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央1-6-35 TEL.022-261-3628 FAX.022-225-1567 <https://www.tajima.jp/>

防水改修工事のプロフェッショナル集団

東北防水改修工事協同組合 田島ルーフィング(株)仙台営業所

〒980-0021 仙台市青葉区中央1丁目6-35 東京建物仙台ビル6階 Tel.022-261-3628 Fax.022-225-1567 URL=<http://www.tohoku-bousui.com/> URL=<http://www.tajima.jp/>

東北防水改修工事協同組合会員

【青森県】(株)青建防水工業 ☎0177-88-4343	(株)森川防水工業 ☎0186-62-4186	(株)山田防水工業 ☎0224-54-1302
(株)東興防水工業 ☎0178-41-2700	アサヒトラスト(株) ☎022-352-4701	(山形県)イトウ防水工業(株) ☎0238-23-8321
(株)大創工業 ☎0178-47-9710	(株)イガラシ工業 ☎022-281-9241	奥羽建築(株) ☎0235-24-2180
(株)山谷防水 ☎0173-34-8780	(株)エーツー ☎022-393-7066	山建工業(株) ☎023-633-3003
【岩手県】(株)荒谷工業 ☎019-688-5627	(株)ケー・アイ工業 ☎022-386-2728	【福島県】(株)GO A HEAD ☎0244-38-7472
(株)アークス ☎019-662-5354	(株)菅原防水工業 ☎022-777-7668	(株)南佐久間防水工業 ☎024-923-4229
(株)奥羽工業(株) ☎019-624-6333	(株)タカイ工業 ☎022-725-2907	田村建材(株) ☎0246-26-3121
(株)南奥友防水工業(株) ☎019-646-4019	東興アイテック(株)東北営業所 ☎022-287-3410	南坪井防水工業(株) ☎024-991-0507
北星建設(株) ☎019-637-5611	(株)東江防水(株) ☎022-285-1191	東新技術(株) ☎0243-48-1050
マルエス工業(株) ☎019-639-0411	トージョウリホーム(株) ☎022-287-2715	日東物産(株) ☎024-546-2288
【秋田県】(株)環清工業 ☎0183-72-0038	(株)東北ケミカル工業 ☎022-229-2887	福島防水(株) ☎024-963-1230
東北化工(株) ☎0186-29-2349	中村澁青工業(株)仙台営業所 ☎022-249-7021	(株)山崎工業 ☎0246-29-1255
(株)東和 ☎018-864-4561	日新商事(株) ☎022-295-9895	
	三星産業(株)東北支店 ☎022-262-5201	
	嶺電工業(株) ☎022-375-8976	

新防水工法 / 製品紹介

時代のニーズに応える材料×工法技術で
常に進化を続けるアスファルト防水

加熱型改質アス塗膜防水工法

プライムアス

Prime-AS

加熱型塗膜材と高性能ルーフィング
による省層化工法

改質アス常温複合法

レイヤオール

LAYER ALL

あらゆる部位に使える 加熱なしで
施工可能な万能工法

東西アスファルト事業協同組合 <https://www.tozai-as.or.jp>

サーモコントロール断熱で カーボンニュートラル

直射日光を受ける屋上面から断熱・遮熱性能を効果的に付加できる外断熱工法。
断熱性能の良い建物は空調負荷が小さく、CO₂排出量の抑制に寄与します。

「断熱」

熱を伝えにくく
する機能

「遮熱」

光を反射して熱量を
軽減する機能

サーモ
コントロール
断熱

サーモコントロール断熱改修のメリット

断熱材が熱伝導を妨げ 高い省エネ効果

ふく射熱の発生を防ぎ高温による 防水層の劣化進行を抑制

温度変化によるコンクリートの伸縮を抑制し 建物の長寿命化に寄与

東北防水改修工事協同組合 <https://www.tohoku-bousui.com>

日本バンデックス株式会社はコンクリート躯体処理工法のプロフェッショナルです。 **Vandex**

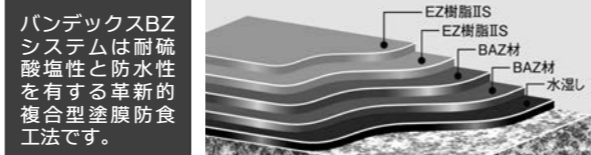
下水処理施設
防水・防食のエース!!



バンデックスBZシステム(無機質系耐酸防水防食材)

特長

- 無機質系及び無溶剤系の材料を使用する「環境にやさしい」工法です。
- 下地が湿っていても施工が可能であり、新設はもちろん補修・改修工事にもご採用いただけます。
- 塗布工程が少ないので工期の短縮が可能です。
- 有機酸対応のトップコートを使用する事で、下水道施設のみならず、厨房排水槽等への施工も可能です。



日本バンデックス株式会社 ■本社 〒168-0074 東京都杉並区上高井戸一丁目2番9号
TEL.03(6379)6581 FAX.03(6379)6541 <http://vandex.jp>

バンデックス防水工業会東北支部
 南青建防水工業 TEL.017(788)4343 南雄ケミカル TEL.019(648)1675 田村建材 株式会社 TEL.0246(26)3121
 開 発 株式会社 TEL.018(824)2233 北洋建設工業株式会社 TEL.022(236)6768 山 建 工 業 株式会社 TEL.023(633)3003
 南 秋 田 止 水 株式会社 TEL.018(834)4020 中外建設工業株式会社 TEL.022(375)5656 イトウ防水工業株式会社 TEL.0238(23)8321
 奥 羽 工 業 株式会社 TEL.019(624)6333 南東北ケミカル工業 株式会社 TEL.022(229)2687

東北シーリング工事業協同組合

理事長 高橋 真里
会員24社

(株)旭シーリング TEL 0229(56)4401	東 北 化 工 (株) TEL 0186(29)2349
(株)エスシーリング TEL 022(355)5744	(株)藤和シール工業 TEL 022(290)5179
(株)イニテ工業所 TEL 022(383)3621	(株)三 國 TEL 018(884)6888
(株)ギコウ TEL 022(352)0440	(有)泉工業 TEL 019(651)4726
(有)東北テクノ TEL 022(348)6351	(有)クマプロ TEL 019(613)9122
(株)日 昇 TEL 022(396)1531	(有)コク・シール工業 TEL 019(684)5311
(株)東北丸本 TEL 022(371)9711	(株)小山商店 TEL 019(646)9162
(株)S W C TEL 022(349)5506	(有)四戸防水工業 TEL 019(688)1229
桜シーリング工業 TEL 0172(35)3750	(株)日建美装 TEL 023(679)2315
(有)シーリングタナカ TEL 0176(57)1660	(株)エムケーシール TEL 024(953)5230
(有)環清工業 TEL 0183(72)0038	(株)二瓶シール工業 TEL 024(943)3823
(有)田口シーリング TEL 0187(56)3194	(株)タダキシール工業 TEL 024(546)5222

事務局 〒981-1232 宮城県名取市大手町5丁目12-5 大手町ビル2-B 電話 022(302)4728 FAX 022(302)4784
URL <https://tohoku-sealing.jp/> E-mail tohoku_sealing@yahoo.co.jp

アスファルト防水工法の 明日を創造します。

私たちは確かな未来を見据えて、常に「地球にいいこと」を考え続けています



NEW 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 アスリード工法

「アスリード工法」は、アスファルト防水工法の明日を率いる革新的な防水工法です。超耐久ルーフィング(アスリードルーフ)を採用し、防水工用アスファルトを高耐久・高伸長改質アスファルト塗膜防水材(アスリードコート)とすることで、「信頼性」「耐久性」を保持しつつ大幅な「施工省力化」を実現しました。

信頼性の高い熱工法

- 実績のあるアスファルト防水熱工法による信頼性。

施工省力化

- 単層保護仕様や立上り塗膜工法の採用。
- 端末はビス穴を開けることなく塗膜+メッシュ納めが可能。

総合防水材料メーカー
日新工業株式会社 <https://www.nishinkogyo.co.jp/>
営業統括部 〒120-0025 東京都足立区千住東 2-23-4 TEL:03-3882-2571 FAX:03-3881-8545

日本アスファルト防水工業協同組合 <https://www.nihon-as.or.jp/>
事務局 〒120-0025 東京都足立区千住東 2-23-4 日新工業(株)内 TEL:03-6806-2666 FAX:03-6806-2667

宮城県知事許可(般-21)第7904号
有限会社 東北ケミカル工業
代表取締役 葛西 秀樹
仙台市太白区恵和町30-13
TEL.022-229-2887 FAX.022-229-8878

山形県知事許可(般-5)第701597号
・土木・建築防水・内外塗装・吹付工事
イトウ防水工業株式会社
代表取締役 伊藤 貴博
〒992-0038 山形県米沢市城南3丁目3番10号
TEL.0238-23-8321 FAX.0238-24-4759
E-mail: bousuri@ms3.omn.ne.jp

山形県知事許可(般-5)第701597号
株式会社 高輝工業
代表取締役 高橋 直幹
本社 〒997-1321 山形県東田川郡三川町大字押切新田字五反98-1
TEL.0235-68-1816 FAX.0235-68-1817
庄内 〒999-7781 山形県東田川郡庄内町余目字三人谷地212-4
TEL.0234-28-8606 FAX.0234-28-8607
仙台 〒984-0037 宮城県仙台市若林区蒲町東9-2
TEL.022-357-0719 FAX.022-357-0818

建築塗装 / 橋梁塗装 / 防水工事 / コンクリート補修
株式会社 ナカムラ
NAKAMURA
〒997-0802 鶴岡市伊勢原町 26-10
【支店・営業所】
仙台 / 山形 / 東京 / 秋田 / 弘前 / 盛岡 / 福島

防水工事/外壁改修工事/耐火被覆工事/塗装吹付工事ほか
株式会社 日建美装
代表取締役 藤岡 真伍
〒999-3101 山形県上山市金瓶字北17-4
TEL.023-679-2315 FAX.023-679-2318

各種防水・塗装・左官
有限会社 備 研
代表取締役 石井 良行
〒999-7631 山形県鶴岡市八色木字西野337-3
TEL.0235-64-5799 FAX.0235-64-5793
HP <https://bikentsu-wp-x.jp>

◆構造物の総合防水 塗装・改修工事
郡山シーリング株式会社
会 長 金澤 正夫
代表取締役 金澤 尚也
〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字宮田100番地
TEL.024-953-4141 FAX.024-943-1322
E-Mail: info@k-sealing.co.jp

各種建築専門工事業
築くこと、すべてに感動品質を—
田村建材 株式会社
代表取締役 田村 哲朗
福島県いわき市内郷町金谷1番地の7 TEL.0246(26)3121(代)
支店/郡山 営業所/福島・白河・東京

安全安心を、超える挑戦。
福島防水
代表取締役 蜂谷 雅俊
〒963-0547 福島県郡山市喜久田町卸二丁目26番地1
TEL.024-963-1230 FAX.024-963-1239

有限会社 松本防水工業
代表取締役 松本 健一
〒963-4435 福島県田村市船引町大倉字上大倉115番地
TEL.0247-61-6866 FAX.0247-61-6876